



長谷川和彦と ディレクターズ・カンパニー

Kazuhiko Hasegawa and Director's Company

2022年10月25日(火) — 10月30日(日)

主催: 国立映画アーカイブ、東京国際映画祭



* 会期、上映スケジュールおよびチケットの発売日、定員の変更等の場合はHPでお知らせします。

* マスク着用のない方の入館をお断りします。

* 来館者全員に検温を行います。37.5℃以上の方は入館をお断りします。



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

国立映画アーカイブ [地下1階]
小ホール

定員=151名(各回入替制・全席指定席)

開映後の入場はできません。

電子チケットは
座席選択可能

チケット料金

一般:520円 / 高校・大学生・65歳以上:310円 / 小・中学生:100円 / 障害者(付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズ・未就学児・優待:無料

★トーク付上映の回

一般:1,000円 / 高校・大学生・65歳以上:800円 / 小・中学生:600円 / 障害者(付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズ・未就学児・優待:500円

- 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
- 学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
- 未就学児、優待の方は「障害者または付添者等券」をお求めください。
- チケット購入方法の詳細は4頁、または国立映画アーカイブHPをご覧ください。

下記に該当する方は購入をお控え願います。

新型コロナウイルス感染症について

- 陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方
- 検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方
- ご自身の身近に感染の疑いがある方
- 過去14日間以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方

入場方法

● 開場は開映30分前です。

- チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷されたものをご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いのないようご注意ください。

表紙画像: 青春の殺人者 ©1976 TOHO CO., LTD.



← 国立映画アーカイブHP

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。
上映会番号457

小ホール
上映作品

長谷川和彦と ディレクターズ・カンパニー

Kazuhiro Hasegawa and Director's Company

1982年6月、長谷川和彦が8人の新進監督たち(相米慎二、根岸吉太郎、高橋伴明、井筒和幸、池田敏春、大森一樹、石井聰互、黒沢清)に呼びかけ、企画・製作会社ディレクターズ・カンパニーが設立されました。1960年代以降、撮影所システムが崩壊してゆくなか、多くの独立プロダクションが製作を開始しましたが、日活撮影所・ピンク映画・自主映画出身の監督たちによる異色の製作集団の設立は、映画業界や映画ファンの間で大きな話題を巻き起こしました。ディレクターズ・カンパニーは、時には既存の大手映画会社やテレビ局と連携し、時には全く独自の製作体制を貫いて、野心的な作品を数多く生みだしました。しかし、その大半は十分に興行成績を上げることができず、経営難に陥った後、1992年に活動を終了しました。

本特集では、ディレクターズ・カンパニーの設立を導いた長谷川和彦監督の2作品(2プログラム)と、同社の設立後に製作された7作品(7プログラム)を上映します。本特集を通じて、この個性的な製作会社が残した作品群の再発見につながることを願っています。

なお、東京国際映画祭のNippon Cinema Now部門の特集(追悼 青山真治)に合わせて、本年3月に急逝した青山真治監督の2作品(2プログラム)の特別上映を行います。

- 監=監督・演出 ◎=製作 ㊦=企画 ㊧=プロデューサー
- ◎=原作・原案 ㊨=脚本・脚色 ㊩=撮影 ㊪=美術
- ㊫=音楽 ㊬=出演
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- ★印の回は上映後トーク(約30分)があります。

マスク着用のない方の入館をお断りします。

当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策

- 来館者全員への検温を実施。
- 館内各所に手指用消毒液を設置。
- 清掃・消毒を強化。
- ホール内の換気を強化。
- スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。
- 受付などの対面場所に飛沫ガードを設置。

ご来館の皆様へお願い

- 発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。
- こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。
- 入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。
- ロビー等での飲食は、蓋の閉まる飲み物以外は禁止させていただきます。
- 感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時での記録をお願いします。

1 10/25(水)14:30 ★

青春の殺人者(115分・35mm・カラー)

衝動的に両親を殺した予備校生・順(水谷)と幼馴染の恋人・ケイ子(原田)の虚無的な逃避を描く。今村プロや日活で助監督経験を積み、ディレクターズ・カンパニーの発起人となった長谷川和彦の監督デビュー作。中上健次の『蛇淫』をもとに田村孟が脚本を手がけ、のちにディレクターズ・カンパニーに加わる相米慎二が助監督を担当。キネマ旬報ベストテン1位ほか各賞を総なめにし、注目を集めた。初公開時のオリジナル版は132分だが、公開翌年に再編集された115分版での上映。

1976(今村プロ=綜映社=ATG) 監長谷川和彦 今村昌平、大塚和 多賀祥介 中上健次 田村孟 鈴木達夫 木村威夫 宮田吉 水谷豊、原田美枝子、市原悦子、内田良平、桃井かおり、江藤潤、白川和子、地井武男

2 10/29(土)15:00 ★

太陽を盗んだ男(147分・35mm・カラー)

平凡な中学の理科教師がひそかに自宅に原爆を製造し、政府に様々な要求をつきつけるというレナード・シュレイダーの原案を、豪華キャストと壮絶なアクションを交えて映画化。渋谷東急百貨店本店周辺で行われた大規模なゲリラ撮影は日本映画史に残る大胆な試みとなった。相米慎二が助監督、黒沢清が製作進行として参加している。

1979(キティ・フィルム) 監長谷川和彦 山本又一郎 伊地智啓 レナード・シュレイダー 鈴木達夫 横尾嘉良 井上堯之 沢田研二、菅原文太、池上季実子、北村和夫、神山繁、佐藤慶、伊藤雄之助

3 10/26(水)15:00

人魚伝説(109分・35mm・カラー)

台風襲来による撮影中断などを乗り越え完成したディレクターズ・カンパニーの長篇第1作で、池田敏春にとつて念願の初の一般映画。夫(江藤)を殺害された海女(白都)の凄絶な復讐を描く。利権のからむ原発設置計画など海辺の町がかかえる問題を描く一方、美しい海の風景と血しぶきまみれの復讐シーンの描写が鮮烈で、ファンタジーに突き抜ける力を持った作品となった。

1984(ディレクターズ・カンパニー=ATG) 監池田敏春 佐々木史朗、宮坂進 多賀祥介 根岸吉太郎、山本勉 宮谷一彦 西岡琢也 前田米造 中村征夫 小川富美夫 本多俊之 白都真理、江藤潤、清水健太郎、青木義朗、宮下順子、神田隆、宮口精二



青春の殺人者

©1976 TOHO CO., LTD.



太陽を盗んだ男

©1979 TOHO CO., LTD.

4 10/26(水)18:30 ★

逆噴射家族(107分・35mm・カラー)

新興住宅地のマイホームに引っ越した家族の抑圧されたストレスが次第に噴出し、家庭が戦場となる様を描く。ホームドラマに暴力とアクションを接続させた異色の破壊的コメディ。8mm自主映画『高校大パニック』(1976)が話題を呼び、その後卒業制作の『狂い咲きサンダーロード』(1980)が配給・公開されるなど新進映画作家として注目されていた石井聰互(岳龍)は、長谷川和彦に声をかけられ最年少としてディレクターズ・カンパニーに参加した。

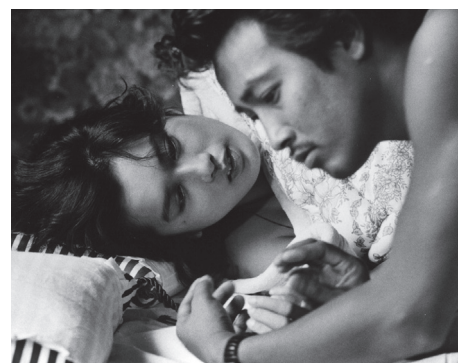
1984(ディレクターズ・カンパニー=国際放映=ATG) 監石井聰互 長谷川和彦、山根豊次、佐々木史朗 多賀祥介、宮坂進 高橋伴明 小林よしのり 神波史男 田村正毅 細石照美 1984 小林克也、倍賞美津子、有園芳記、工藤夕貴、植木等

5 10/27(木)18:30 ★

犬死にせしもの(103分・35mm・カラー)

井筒和幸がディレクターズ・カンパニーで監督した最初の作品。1947年、復員兵の重佐(真田)は、ともにビルマ戦線を生き延び、現在は瀬戸内海を荒らす海賊となった鬼塚(佐藤)と再会して、その仲間になる。戦争で死に損なった若者が、命の輝きを取り戻すアクション映画。当時20代の真田広之、佐藤浩市など若手の新鮮な魅力が際立つなか、元ヤクザの男を演じる特攻隊出身の西村晃の存在が映画に興行きを与えている。

1986(大映=ディレクターズ・カンパニー) 監井筒和幸 山本洋、溝口勝美、宮坂進 細越吾吾 山本勉 西村望 西岡琢也 藤井秀男 下石坂成典、若瀬豊 武川雅寛 真田広之、佐藤浩市、安田成美、平田満、蟹江敬三、今井美樹、西村晃



人魚伝説

©1984 TOHO CO., LTD.



逆噴射家族

©1984 TOHO CO., LTD.



犬死にせしもの

©KADOKAWA1986

6 10/28(金)18:30 ★

永遠の1/2 (101分・35mm・カラー)

純文学を映画化し、浮遊する青年像を繊細な映像感覚で捉えた青春映画。市役所を辞め婚約者とも別れた宏(時任)は、競輪場に通う日々の中で良子(大竹)と親密になるが、自分に似た男の出現に戸惑う。非日常との曖昧な境界で名脇役陣の好演も光る作品。根岸吉太郎は、長谷川和彦の日活時代からの盟友として相米慎二とともにディレクターズ・カンパニーの支店となり、『人魚伝説』の製作を手がけた後、テレビ局との提携作品として『ウホッポ探険隊』(1986)と本作を監督した。

1987(ディレクターズ・カンパニー=フジテレビジョン=ソニービデオソフトウェアインターナショナル)◎根岸吉太郎◎三ツ井康、岸栄司、宮坂進◎渡辺敦、角谷優◎神野智、酒井彰、肥田光久◎佐藤正午◎内田栄一◎川上皓市◎寒竹雄雄◎野力奏一◎時任三郎、大竹しのぶ、中嶋朋子、小林聡美、竹中直人、川谷拓三、藤田敏八、津川雅彦

7 10/29(土)19:10

死霊の罠 (100分・35mm・カラー)

殺人ビデオの謎を追って、TVレポーターの名美(小野)は仲間とともに廃墟に乗り込むが…。『日本映画初の本格的スプラッター・ホラー』と評された作品。衝撃的な惨殺描写のみならず、池田敏春と石井隆のコンビ作として『天使のはらわた 赤い淫画』(1981)、『魔性の香り』(1985)に引き続き水を媒介とした演出が出色。本作と同年にはホラー『DOORS』(高橋伴明)とサイコ・サスペンス『妖女の時代』(長崎俊一)がディレクターズ・カンパニーによって製作された。

1988(ジャパンホームビデオ=ディレクターズ・カンパニー)◎池田敏春◎升水惟雄◎渡辺敦◎神野智、大塚未知雄◎石井隆◎田村正毅◎丸尾知行、林田裕至◎特殊メイク若狭新一◎篠原雅也◎岸浦秀一◎吉良知彦◎小野みゆき、桂木文、小川ひとみ、中川えり子、阿部雅彦、小間優二、島田紳助



永遠の1/2

8 10/29(土)12:00

危ない話 一夢幻物語一

(105分・35mm・カラー)

ディレクターズ・カンパニーのユニット製作により、3話オムニバス構成で、危うさをテーマとして日常と隣り合わせにあるファンタジーを展開。井筒和幸はヤクザの抗争に巻き込まれる会社員の一晩をシチュエーション・コメディとして描き、黒沢清はアメリカン・ホラーの影響が色濃いサスペンス描写をたたみ掛け、高橋伴明は純愛を軸として犯罪者カップルの数奇な運命を綴る。レコード会社CBS・ソニーとの提携により当初はオリジナルビデオ作品として企画されたが、劇場公開に至った。

1989(CBS・ソニー・グループ)◎白川隆三◎肥田光久、宮坂進◎大平哲夫、渡辺敦◎ツタンカーメン王の呪い◎井筒和幸◎阪本順治◎篠田昇◎細石照美◎藤野浩一◎竹中直人、佐野史郎、川村万梨阿、室田日出男◎奴らは今夜もやってきた◎◎黒沢清◎及川中◎瓜生敏彦◎細石照美◎藤野浩一◎石橋蓮司、江幡高志、加藤賢崇◎あの日に会いたい◎高橋伴明◎武井法政◎笠松則通◎細石照美◎◎飛田ゆき乃◎永島敏行、橋本弘

9 10/25(木)18:30 ★

真夏の地球 (106分・35mm・カラー)

海沿いの田舎町を舞台に、ひょんなことからビーチバレーボール大会に出場することになった3人の高校生(菊池、筒井、山口)と避暑に訪れた美人姉妹(原田、深津)、そして伝説の「スイカ男」(永島)の交流を描く爽やかな青春映画。ボーイッシュな女の子を演じる深津絵里が魅力的。監督は『STAY GOLD』(1988)の村上修。『東京上空いらっしゃいませ』(1990、相米慎二)の榎祐平が脚本を担当した。

1991(ディレクターズ・カンパニー)◎村上修◎宮坂進◎岡本史雄、安斎孝太郎◎田中雅夫◎榎祐平◎藤沢順一◎細石照美◎日永田広◎菊池健一郎、深津絵里、筒井道隆、山口祥行、沢村亜津佐、大場明之、長塚京三、原田貴和子、永島敏行



死霊の罠

特別上映

映画監督 青山真治

ディレクターズ・カンパニーの活動には、現在の日本映画を支える多くの監督やスタッフが参加しました。第5回東京国際映画祭(1992)のNippon Cinema Now部門に出品された『地獄の警備員』(1992、黒沢清)において、演出助手をつとめた青山真治もその一人です。本年3月21日に惜しまれながら逝去した青山真治監督(1964-2022)を、90年代に公開された2作品の英語字幕付きプリントを上映することで追悼します。

10 10/28(金)15:00 ★ 10/30(日)12:30 ★

チンピラ (100分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

『Helpless』(1996)で鮮烈なデビューを飾った青山真治の監督第2作。1984年に川島透監督で映画化された金子正次の遺稿を再映画化。四国から上京してきた喧嘩早い洋一(大沢)と、うだつが上がらない中年男・道夫(ダンカン)のチンピラ同士の友情を描く。青山の要請で音楽を担当したシーナ&ザ・ロケッツの鮎川誠のギターが、『トカレフ』(1994、阪本順治)等で知られる石井勲のカメラが作り上げた映像に拮抗しうる大きなインパクトを残している。

1996(タキコーポレーション=円谷映像)◎青山真治◎◎金子正次◎森岡利行◎石井勲◎新田隆之◎鮎川誠◎大沢たかお、ダンカン、片岡礼子、青山知可子、石橋凌、寺島進、菅田俊、光石研

11 10/27(木)15:00 ★ 10/30(日)15:50 ★

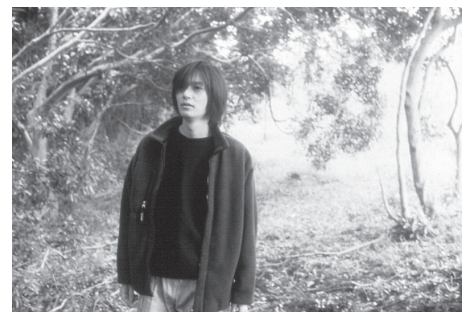
SHADY GROVE (99分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

理想の男性(関口)との結婚に執着するOL(粟田)と、映画配給会社で働きつつ目的を見失っている男性(ARATA)との出会いとその後を描いた青山真治の監督第5作。全篇の約80%がデジタルビデオで撮影されたが、映画の重要な舞台となる「陰ある森(シェイデー・グローヴ)」の場面ではフィルム撮影が行われ、その質感の違いが作品に奥行きを与えている。是枝裕和監督の『ワンダフルライフ』(1999)でデビューしたARATA(井浦新)が、不安をかかえた孤独な主人公を好演。

1999(ビタース・エンド)◎◎青山真治◎佐藤公美◎田村正毅◎清水剛◎山田勲◎栗田麗、ARATA、関口知宏、齋藤陽一郎、浅見小四郎、中野若葉、江角英明、矢島健一、塩見三省、光石研



チンピラ ©1996 金子正次/タキコーポレーション



SHADY GROVE ©ビタース・エンド

上映後トークのご案内

- 10月25日(火) 『青春の殺人者』トークゲスト:調整中
- 『真夏の地球』トークゲスト:榎祐平(脚本)
- 10月26日(水) 『逆噴射家族』トークゲスト:調整中
- 10月27日(木) 『SHADY GROVE』トークゲスト:調整中
- 『犬死にせしもの』トークゲスト:井筒和幸(監督)
- 10月28日(金) 『チンピラ』トークゲスト:調整中
- 『永遠の1/2』トークゲスト:根岸吉太郎(監督)
- 10月29日(土) 『太陽を盗んだ男』トークゲスト:調整中
- 10月30日(日) 『チンピラ』トークゲスト:調整中
- 『SHADY GROVE』トークゲスト:調整中

*調整中のゲストは、後日HPにて公開します。
*トークは約30分を予定しております。
*トークイベントからの参加はできません。
*ゲストは予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

関連上映のご案内

10月24日(月)から11月2日(水)にかけて開催される東京国際映画祭の日本映画クラシックス部門の中で、近年デジタルリマスター化されたディレクターズ・カンパニーの4作品『台風クラブ』(1985、相米慎二)、『光る女』(1987、相米慎二)、『DOORS』(1988、高橋伴明)、『地獄の警備員』(1992、黒沢清)の上映が行われます。

会場:TOHOシネマズ シャンテ

また、同映画祭のNippon Cinema Now部門の特集「追悼 青山真治」において、『EUREKA』(2001)と『エリ・エリ・レマ・サバクタニ』(2005)の英語字幕付きプリントが上映されます。

『EUREKA』の上映
会場:丸の内ピカデリー、角川シネマ有楽町
『エリ・エリ・レマ・サバクタニ』の上映
会場:丸の内ピカデリー

詳細は東京国際映画祭のHPをご覧ください。



←東京国際映画祭HP

長谷川和彦とディレクターズ・カンパニー

Kazuhiko Hasegawa and Director's Company

10月	25		14:30	① 青春の殺人者 ★	(115分)	18:30	⑨ 真夏の地球 ★	(106分)		
	26	チケット販売開始: 10/18 10:00 ~	15:00	③ 人魚伝説	(109分)	18:30	④ 逆噴射家族 ★	(107分)		
	27		15:00	⑩ SHADY GROVE ★	(99分)	18:30	⑤ 犬死にせしもの ★	(103分)		
	28		15:00	⑩ チンピラ ★	(100分)	18:30	⑥ 永遠の $\frac{1}{2}$ ★	(101分)		
	29	12:00	⑧ 危ない話 — 夢幻物語 —	(105分)	15:00	② 太陽を盗んだ男 ★	(147分)	19:10	⑦ 死霊の民	(100分)
	30	12:30	⑩ チンピラ ★	(100分)	15:50	⑩ SHADY GROVE ★	(99分)			

■開場は開映30分前です。

■開映後の入場はできません。予告篇はございません。

■各日11:00に閉館します。

■★印の回は上映後トーク(約30分)があります。



太陽を盗んだ男

©1979 TOHO CO., LTD.



人魚伝説

©1984 TOHO CO., LTD.



SHADY GROVE

©ピタース・エンド



犬死にせしもの

©KADOKAWA 1986

展示室(7階)

【企画展】 常設展「NFAJコレクション」でみる 日本映画の歴史も併設されています。

脚本家 黒澤明

Akira Kurosawa, Screenwriter

2022年8月2日(火)ー11月27日(日)

* 月曜日は休室です。

主催: 国立映画アーカイブ

企画協力: 横田寿文

協力: 黒澤プロダクション、株式会社K&K Bros.

映画監督黒澤明は、幾多の名脚本家に支えられて傑作映画を生み出しましたが、その若き日から、ドストエフスキーやバルザックといった文豪の影響を受けながら自身もシナリオを執筆することで成長しました。本展覧会では、『七人の侍』(1954)などの脚本の生成過程を分析し、他の監督への提供脚本、新発見の未映像化脚本も加えて、黒澤作品の専門家の協力のもと「シナリオ作家黒澤」の創作の秘密を解き明かします。

開室時間=11:00-18:30(入室は18:00まで)

* 毎月末金曜日は11:00-20:00(入室は19:30まで)

料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

* 2022年11月3日(木)「文化の日」は、無料でご覧いただけます。

* 国立映画アーカイブの上映観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

NFAJデジタル展示室

下記ホームページからお入りください

<https://www.nfaj.go.jp/online-service/digital-gallery>

チケットの購入方法

10月18日(火)10:00amから、当館HPより公式チケットサイトに開映15分前までオンライン販売します。チケットぴあでの販売はありません。

クレジットカードまたはd払いで購入

→メールに届くQRコードの表示で入場

・スマホ画面での入場が可能です。

・手数料無料 ・座席選択可

・PC購入の方はQRコードをプリントアウトしてご持参ください。



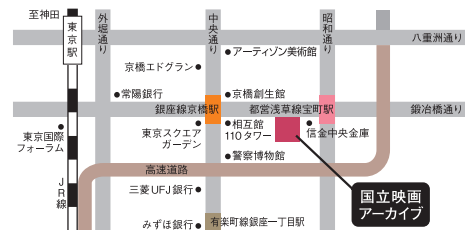
国立映画アーカイブHP→

上映当日、当館1階窓口にて各回開映1時間前から5分前まで、チケットを若干数販売します。座席選択はできません。窓口にはばさず購入でき、座席選択可能なオンライン購入をお勧めします。オンライン販売となった場合も、当日の窓口販売はございますが、枚数は限定数となります。

1階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

*上映をご覧になるお客様へ。チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600

ホームページ: www.nfaj.go.jp

Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR

Instagram: nationalfilmarchiveofjapan